



役場で行われた開票作業

県知事選・参議院選行われる

任期満了に伴う群馬県知事選挙および第25回参议院議員通常選挙（群馬県選挙区と比例代表）が、7月21日に行われました。投票は、同日午前7時から村内8か所で一斉に行われ、開票は午後8時から役場で行われました。

県知事選においては、昭和村の当日有権者数は、5,841人で、投票者数は3,242人。投票率は55・50％で、前回（平成27年7月実施）と比べ14・11％の増加となりました。

群馬県知事選挙		単位：票
石田 清人	無所属	580
山本 一太	無所属	2,595

参议院議員選挙（選挙区）		単位：票
清水まさと	自由民主党	1,868
斉藤あつこ	立憲民主党	939
前田みか子	N国党	189

昭和中生がイーグルポイントへ出発

アメリカ・オレゴン州イーグルポイント市へのホームステイ出発を控えた、昭和中学校生徒の壮行会が8月1日、村公民館で行われました。

壮行会では、渡米する3年生の生徒たちがホームステイに向けての抱負を発表。英語の語学向上やコミュニケーションスキルの習得など、それぞれの思いを語りました。また、現地でのパーティで披露する校歌や、「パプリカ」などを披露しました。

出発日の8月7日早朝には、参加する15人の生徒がそれぞれの思いを胸に、元気に村を出発しました。

▼ホームステイに参加する生徒（敬称略）

宇津野春翔（宿）、生方悠斗（根岸）、高橋陸（森下中）、谷川皓哉（松ノ木平第一）、野田悠仁（中宿）、長谷川哲大（藤井）、儘田陸（森下）、小野りのん（宿）、加藤莉子（中内出）、倉沢優月（根岸）、小林奈央（森下）、鈴木麗乙菜（赤城原第二）、高橋美海（大河原）、竹之内星花（伏田）、毒島珠来（池原）



海外派遣に出発した生徒たち

子どもとの接し方

考える契機に

村教育委員会と村青少年問題協議会が主催する、青少年健全育成大会が7月17日、村公民館で開催されました。この大会は、青少年の健全育成を図るため毎年開催されているもの。大会には教育関係者などおよそ80名が出席しました。この日は、利根教育事務所社会教育主事の林誉隆氏を講師に招き、子どもの理解とコミュニケーション術をテーマに講演が行われました。

このほか、東小学校の高桑実校長による今現在の学校内の取組について紹介がありました。



講演を行う林誉隆氏



堤村長から委嘱状を受け抱負を述べる増田さん

地域おこし協力隊に増田さん

村地域おこし協力隊として、増田武虎^{たけとら}さんが7月1日に堤村長から委嘱状を交付され着任しました。

この「地域おこし協力隊」は、都会の



イベントの設営で汗を流す増田さん

若者を地方に呼び込み、定住・定着の支援をしながら地域の活性化に貢献してもらうために国が創設した制度。増田さんは、平成30年4月から活動している伊藤^{しんぞく}眞作さんに次いで本村2人目となります。

増田さんは、神奈川県大和市から村に移住。道の駅「あぐりーむ昭和」での業務に携わっており、「興味を持っている農業への関わり方を模索したことがきっかけ。将来は就農を目指し、技術の習得や向上に努めたい」と抱負を語りました。

議員・農業委員ら

奉仕作業で草刈

村議会議員と村農業委員、さくら工房の会員らおよそ60人が7月10日、総合運動公園周辺と望郷ライン沿いの村有林で奉仕作業の下草刈りを行いました。

この作業は、環境美化活動の一環として、村の財産である村有林や望郷ライン沿いの景観を美しく保とうと、毎年行われているもの。当日は、午前8時半から

一斉に作業を開始。暑い日となりましたが、村有林に生い茂った雑草が手際よく刈り取られるとともに、望郷ライン沿いの道路脇が美しさを取り戻しました。

望郷ライン沿いで花いっぱい運動

補給をするなど体調管理に気を配りながら、植付けや水やり作業に汗を流しました。

昭和村づくり協力委員会(星野和美会長)は7月10日、村議会議員と合同で望郷ライン沿いにサルビアとマリーゴールドの苗、およそ4千本を植えました。

また、村婦人会(倉澤富士子会長)は7月25日、同会員21名が参加し総合運動公園付近の道路沿いにサルビアの苗およそ3千本を植えました。

これらの作業は、村の景観や環境の美化を図る「花いっぱい運動」の一環としてそれぞれの団体が毎年行っているもの。両日とも厳しい暑さの中、こまめに水分



婦人会による花植え作業



花植えに汗を流す村づくり協力委員ら



下草刈りに汗を流す参加者